

問1	ブラジルの農産物生産に関する統計資料において、さとうきびの生産量は2000年代後半から著しく増加しています。コーヒー豆やオレンジなどの他の農産物と比較しても、さとうきびの生産量がこれほどまでに急増した背景として、最も適切な説明はどれですか。（2016年 大分県公立入試 類似）			
	1. 国際的なコーヒー豆の価格暴落を受け、政府がコーヒー農家に対してさとうきび栽培への転換を強制したため。	2. 地球温暖化対策として、石油に代わるバイオ燃料の需要が高まり、その原料としての価値が上がったため。	3. 先進国で健康ブームが起こり、天然の甘味料である砂糖の消費量が世界的に激増したため。	4. アマゾン川流域の熱帯雨林が再生されたことで、農地が大幅に拡大し、全農産物の輸出量が均等に増加したため。
問2	地球温暖化対策の一環として、ガソリンに混ぜて自動車の燃料などに利用される「バイオエタノール」の導入が進んでいます。ブラジルなどの地域において、このバイオエタノールの主要な原料として利用されている農作物を次の中から選びなさい。（2021年 鹿児島県公立入試 類似）			
	1. サトウキビ	2. 茶	3. 綿花	4. 天然ゴム
問3	南アメリカの赤道付近に位置する都市の気象データにおいて、月平均気温が一年を通して約10度から15度の間でほぼ一定であり、月ごとの気温の変化（年較差）が非常に小さい一方で、周辺の低地よりも気温が低く抑えられている気候を何と呼びますか。（2022年 神奈川県公立入試 類似）			
	1. 緯度が高い地域で見られる亜寒帯気候	2. 赤道直下の低地で見られる熱帯雨林気候	3. 中緯度の沿岸部で見られる温暖湿润気候	4. 標高が高いことによる高山気候
問4	南アメリカ大陸の広大な国土を持つブラジルにおいて、沿岸部に集中していた人口や産業を分散させ、内陸部の開発を促進する目的で1960年に新たに建設された首都はどこですか。（2023年 大阪府公立入試 類似）			
	1. サンパウロ	2. ブエノスアイレス	3. リオデジャネイロ	4. ブラジリア
問5	1960年代のブラジルでは、輸出総額の約半分をコーヒー豆が占める「モノカルチャー経済」の状態にありましたが、2020年の統計では特定の品目への依存度が下がり、複数の品目が輸出上位に並んでいます。現在のブラジルの輸出構造の変化について、適切な説明を選びなさい。（2023年 鹿児島県公立入試 類似）			
	1. コーヒー豆への依存がさらに強まり、輸出総額のほとんどを農産物が占めるようになった。	2. 鉱山資源が枯渇したため、現在は大豆や小麦などの穀物輸出に特化した構造に変化した。	3. コーヒー豆の輸出割合が低下し、鉄鉱石や大豆、原油などがバランスよく輸出される多角的な構造に変化した。	4. コーヒー豆の輸出が完全になくなり、現在は工業製品のみを輸出する先進国型の構造に変化した。
問6	南アメリカ大陸のアマゾン川流域に位置する地点の統計において、年平均気温が27.5度と極めて高く、降水量が最も多い月には400mmを超え、年間を通じて非常に多い降水量を示す気候帯を何というか、名称として最も適切なものを選びなさい。（2024年 奈良県公立入試 類似）			
	1. 季節による気温の変化がはっきりしている温帯	2. 降水量が極めて少なく乾燥している乾燥帯	3. 一年中気温が高く降水量が多い熱帯	4. 夏が短く冬の寒さが非常に厳しい冷帯（亜寒帯）
問7	太平洋を取り囲む日本、中国、オーストラリア、アメリカ合衆国などの国々が参加し、地域の持続的な成長と経済的な結びつきを強めることを目的として、1989年に発足した枠組みを何といいますか。（2016年 岩手県公立入試 類似）			
	1. ヨーロッパ連合（EU）	2. 環太平洋パートナーシップ協定（TPP）	3. 東南アジア諸国連合（ASEAN）	4. アジア太平洋経済協力（APEC）
問8	主要国の総発電量内訳を示したデータにおいて、ブラジルは水力発電の割合が全体の約6割から7割を占めており、火力発電や原子力発電に依存する日本やアメリカと比較して非常に高い水準にあります。ブラジルでこのように水力発電が盛んな理由として、最も適切な背景はどれですか。（2023年 広島県公立入試 類似）			
	1. 国土の大部分が平坦な低地であるため、流れの緩やかな河川を利用した潮流発電が全国的に普及しているため	2. アンデス山脈から流れ出る急流を利用するため、隣国であるチリやペルーから電力を全量輸入しているため	3. アマゾン川に代表される豊かな水資源に加え、高低差のある地形を活かした大規模なダム建設が行われてきたため	4. 化石燃料の埋蔵量が世界最小であるため、国策として火力発電所の建設が法律で禁止されているため
問9	標高約4,000mに位置するボリビアのラパスと、同じ低緯度で標高がわずか3mの沿岸都市の気温を比較したとき、ラパスの月別平均気温の推移にはどのような特徴が見られますか。その場所の地理的条件を踏まえて答えなさい。（2017年 鹿児島県公立入試 類似）			
	1. 周辺を山に囲まれているため熱がこもりやすく、低地の都市よりも年間を通して気温が高い	2. 標高の影響で気温が年間を通して低く、季節風の影響で夏と冬の気温差が非常に大きい	3. 低緯度で太陽の光を強く受けるため気温が年間を通して高く、降水量の変化のみが激しい	4. 標高の影響で気温が年間を通して低く、低緯度であるため月ごとの気温差も小さい
問10	南アメリカ大陸の西岸に位置する国の資源や環境保護の取り組みについて、説明した文章として適切なものはどれですか。（2018年 東京都公立入試 類似）			
	1. 世界最大の石油輸出国の一つであり、その収益を利用して沿岸部のサンゴ礁を保護するための国立公園整備を進めている。	2. アマゾン川流域の熱帯雨林を活用した鉄鉱石の採掘が盛んであり、砂漠化を防ぐための大規模な植林活動が国を挙げて行われている。	3. 世界有数の産出量を誇る銅鉱石が主要な輸出品となっており、環境面ではNGOと協力してペンギンなどの保護に取り組んでいる。	4. 希少金属（レアメタル）の輸出が経済の柱であり、近年は農地を拡大するために熱帯雨林を牧草地へ転換する政策をとっている。
問11	オーストラリアにおいて、かつてのヨーロッパを中心とした関係から大きく変化した、近年の社会や経済の動向に関する説明として最も適切なものはどれですか。（2026年 宮崎県公立入試 類似）			
	1. 地理的に近いアジア地域からの移民の増加や、中国や日本などのアジア諸国との貿易割合が高まっている。	2. 経済的な関心を北アメリカに集中させ、アジア諸国との貿易取引を大幅に縮小している。	3. イギリスとの貿易を最優先とする政策へ回帰し、アフリカ地域からの移民を主に対象としている。	4. 伝統的な結びつきを強めるため、ヨーロッパからの移民の受け入れを大幅に増やしている。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 地球温暖化対策として、石油に代わるバイオ燃料の需要が高まり、その原料としての価値が上がったため。	二酸化炭素の排出を抑えるクリーンエネルギーとして、植物由来のバイオ燃料（バイオエタノール）に注目が集まったことが最大の要因です。ブラジルは広大な土地を活かして原料となるさとうきびを大量生産する体制を整え、国内の自動車燃料として普及させるだけでなく、輸出産業としても成長させました。
問2	答え 1 サトウキビ	バイオエタノールは、植物に含まれる糖分やでんぷんを発酵・蒸留して作られる燃料です。ブラジルでは、広大な耕地で栽培されるサトウキビを原料とした生産が非常に盛んであり、ガソリンとエタノールのどちらでも走行可能な「フレックス燃料車」も普及しています。選択肢にある綿花や天然ゴムは、工業製品の原料にはなりますが、燃料（エタノール）の主な原料とはなりません。
問3	答え 4 標高が高いことによる高山気候	アンデス山脈のような高標高地帯では、標高が上がるにつれて気温が下がるため、赤道に近い低緯度であっても一年を通じて涼しい気候になります。また、赤道付近は年間を通じて太陽からの受熱量が安定しているため、季節による気温の変化（年較差）がほとんどなく、「常春」のような気候が続くことが特徴です。
問4	答え 4 ブラジリア	ブラジルでは長らく沿岸部のリオデジャネイロに首都が置かれていましたが、国土の均衡ある発展を目指して内陸部への遷都が行われました。新首都としてゼロから建設されたこの都市は、飛行機の形をした独特の都市計画や近代建築が評価され、歴史が新しい都市でありながら世界遺産にも登録されています。
問5	答え 3 コーヒー豆の輸出割合が低下し、鉄鉱石や大豆、原油などがバランスよく輸出される多角的な構造に変化した。	かつてのブラジルは、特定の農産物であるコーヒー豆の輸出に依存するモノカルチャー経済でした。しかし、現在はアマゾン盆地の鉄鉱石（カラジャス鉄山など）の採掘や、セラードと呼ばれる地域での大規模な大豆栽培、さらに海底油田からの原油生産が進んだことで、農産物と鉱産資源の両面で輸出品目が多角化し、国際価格の変動に強い産業構造へと変化を遂げています。
問6	答え 3 一年中気温が高く降水量が多い熱帯	赤道周辺の低緯度地域に位置するアマゾン川流域は、一年中太陽の光を強く受けるため気温が高く、上昇気流が発生しやすいことから多量の雨が降ります。雨温図において、月平均気温が常に18度を上回り、なおかつ年間を通して降水量が豊富であるという特徴は、熱帯特有のものです。
問7	答え 4 アジア太平洋経済協力（APEC）	オーストラリアは、貿易相手がイギリスからアジアへと変化する中で、地域協力の重要性を認識し、この組織の設立に主導的な役割を果たしました。環太平洋地域の広範な国・地域が参加しており、貿易や投資の自由化を進めるための対話の場となっています。ASEANは東南アジアの10カ国による組織であり、EUはヨーロッパの組織である点と区別が必要です。
問8	答え 3 アマゾン川に代表される豊かな水資源に加え、高低差のある地形を活かした大規模なダム建設が行われてきたため	ブラジルは世界最大級の流域面積を持つアマゾン川やパラナ川などの大河川に恵まれており、さらにブラジル高原のような起伏のある地形が存在するため、水力発電に適しています。イタイプダムなどの巨大な発電施設を建設・運用することで、国内電力の大部分を再生可能エネルギーである水力で賄う構造が作られました。これに対し、日本やアメリカは化石燃料による火力発電の比率が高いという違いがあります。
問9	答え 4 標高の影響で気温が年間を通して低く、低緯度であるため月ごとの気温差も小さい	ラパスのような高山都市は、標高が極めて高いために気温が著しく低くなります。一方で、赤道に近い低緯度に位置しているため、1年を通じた太陽高度の変化が小さく、季節による気温の変化（年較差）がほとんど見られない「常春」のような安定した気温推移となるのが特徴です。
問10	答え 3 世界有数の産出量を誇る銅鉱石が主要な輸出品となっており、環境面ではNGOと協力してペンギンなどの保護に取り組んでいる。	チリは世界最大の銅の産出国として知られ、鉱業が国の経済において重要な地位を占めています。また、生物多様性の維持にも関心が高く、特定の環境保護団体（NGO）と連携しながら、沿岸部に生息するペンギンといった野生動物を保護する活動を推進している点が、近年の地理学習において注目される特徴です。
問11	答え 1 地理的に近いアジア地域からの移民の増加や、中国や日本などのアジア諸国との貿易割合が高まっている。	オーストラリアは、かつてイギリスをはじめとするヨーロッパとの関係を重視していましたが、近年では地理的に近いアジア地域との結びつきを深めています。アジアからの移民が増加するとともに、鉱物資源や農産物の輸出などにおける貿易相手国も中国や日本などのアジア諸国が大きな割合を占めるようになっていきます。